

政策・土木交通常任委員会

- 1 開催日時 平成24年9月12日(水) 10時04分～12時44分
- 2 開催場所 第二委員会室
- 3 説明員 総合政策部長、土木交通部長および関係職員
- 4 議事の概要

【総合政策部所管分】

(1) 新生美術館基本計画の検討状況について

委員からは、経費面での議論が必要なので、早急に予算規模を明確にして委員会に報告すべきである、現下の厳しい財政状況下で、多額の経費を必要とするこうした大きなプロジェクトを計画することが将来の滋賀県の発展にプラスになるのかについて検討すべきである、などの意見が出された。

【土木交通部】

(1) 知事の新幹線新駅に対する発言について

委員からは、今後、新幹線新駅の必要性についての議論は必要となると思うが、まずは、新幹線新駅中止に係る後継プランの邁進に県政を挙げて取り組むべきである、などの意見が出された。

(2) 平成24年度道路予算について

(3) 草津川廃川敷地の活用計画について

委員からは、県が施行するピオトープ部分について、ピオトープは後の管理が難しいという面があるので、過去の管理方法や効果などについて検証を行うべきである、などの意見が出された。

(4) 医療観察病棟にかかる住民訴訟について

(5) 地先の安全度マップの公表について

委員からは、全市町の足並みがそろっていない状況でのマップの公表について、公表の可否を水防管理者である市町に任せてはどうかといった意見や、地域住民に危険を認識してもらう意味で早急に公表すべきであるといった意見が出された。また、マップの公表に2市が反対している状況では、今後、提出が予定されている流域治水基本条例案に議会として対応することは出来ないので、全力を挙げて2市の理解を得るよう努力されたい、といった意見なども出された。



委員会で配付された資料

- 1 新生美術館基本計画の検討状況について
- 2 知事の新幹線新駅に対する発言について
- 3 平成24年度道路予算について
- 4 草津川廃川敷地の活用計画について
- 5 医療観察病棟にかかる住民訴訟について
- 6 地先の安全度マップの公表について